

開会の前に民生委員様より、「運営推進会議」は、どういう趣旨で開催を義務付けられているか、（市、介護保険課より）説明の紙を見せてくださり、今日不参加の町会長さんや、これまで参加のお願いをしていなかった老人会の方にも参加をお誘いしていただくことを助言くださった。

日時：平成30年4月26日（木） 16：40～17：20 場所：お達者くらぶ

出席者：利用者様 家族様

町会長 町会長様

民生委員様

一宮市地域包括支援センターまちなか 担当様

お達者くらぶ 戸松（玲）

議案：デイサービス運営の報告

1) 介護度別利用者様数

○介護 計8名

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0名	3名	1名	3名	0	0	1名

○障害 計11名

身体障害（四肢障害、視覚障害）

知的障害

精神障害

2) 曜日別利用者様数（デイサービス定員は10名）

月	火	水	木	金	土
10名	8名	9名	9名	9名	10名

3) 苦情数

○29年10月より30年3月まで・・・ 苦情なし

4) ヒヤリハット数（介護中に『ヒヤリ』『ハッ』とした気づきをそのまま終わらせず、掘り起こして原因やより良い対応策を探ること。潜在した危険に気がつく為に活用しています。）
→『ヒヤリハットを教訓に』、スタッフ間で、情報共有しています。

○29年10月より30年3月まで 3件 →事故などへの発展はなし

→スタッフ間、情報交換済み

→同じヒヤリハット（失敗）は発生せず

5) 事故報告（転倒など）

○29年10月より30年3月まで

3件→市への報告レベルはなし

→その後の問題に発展したものはなし（ご家族へも連絡済み）

○内容

・転倒事故2回。そのうち、こちらでの受診は0回。家族が受診0回。

- ・他、骨折時の座り直しへの配慮ミス。(家族が経過観察)

○危機管理として

- ・上の3ケースとも、介護者の適切な対応で防げたと考えます。

⇒個々のスタッフにより得意・苦手分野があったり、気付きが違ったりするので、互いに補い合い、全体としてバランスの取れた目配り体制を作れるよう、していきたいです。

6) 社内勉強会 おおむね月1回

- ・地震時の対応を考える
- ・骨粗鬆症、うつ病について学ぶ
- ・個別の介助方法勉強
- ・感染症、脳血管疾患、インフルエンザ予防
- ・高次脳機能障害について学ぶ
- ・統合失調症について学ぶ
- ・ヒヤリハットや事故事例から学ぼう

7) 外部研修 必要時

- ・苦情受付担当、苦情解決担当研修
- ・BCP（災害時の行動）研修（基礎編）

8) 会議 月1回デイスタッフ会議を実施

- ・行事運営などの相談
- ・日々のデイ業務での問題点や対応の難しいケースについて検討会
- ・新規利用者様について
- ・利用者様個別報告

議案2. 現在のデイサービス、できていることと課題

1) 現在のデイサービス

- ・平成30年度より、介護保険、障害者総合支援法、ともに改正がありました。時代に合わせた対応をしつつ、利用者の皆様のご利用の場を守れるようにと思っております。

2) 地域の方々との交わり

○できていること

会報の回覧、発行できた時には回覧板に挟んでいただいている→『まずは、お達者くらぶを知っていただく』ことは、徐々に進んできているか。

① =回覧板で、今は3町内に依頼（1地区は断り）。その他の地区にも声をかけてみては。町会長会議に行って、『運営推進会議とは』を配り、理解を求め、回覧を依頼してみたら。

② =地区としても、せっかくお達者がやっているなら、町の人も参加活用できるとよい。

例：和太鼓の時間に、町の方が参加して一緒に太鼓を叩く。外出に一緒に出かける。

○できていないこと

行事のご案内=ご参加ご協力いただける方の予測が立たないと行事を計画できず、「参加してみてもよい」とお考えの方があっても、計画している、というお知らせができません。

いと、行事自体が計画できない。

- ③ =個人参加だとなかなか進まないと思う。まずは老人会に声をかけてみては。
- ④ =会報の配布・・・以前『老人会での配布は不要、町内回覧板で同じものが回るから』と。
⇒老人会へ、直接具体的に話し合っただけで動いてみては。『いつ、どんなことをしたい、』『どんなボランティアを希望する』『何人位来て欲しい』などと提示して。
- ⑤老人会が今やっている活動(バーベキュー、花見会、餅つき会)を広げる形で、話を持っていてみては。老人会も、お達者も、今動き(活動)が固定している。もう1歩、両方が動き出すことで、両方に広げられる可能性あり。

3) 今後の課題

○利用者様へのアンケートなど、実施を検討中(満足度、ご要望をお聞きする)。

○初の試み! 「昼食外食 Day」を今年度実施予定。

これまで、年に何度か、近くのへ喫茶に利用(支払いは各自)

⑥例:一人では昼食外食に行けないけど、ボランティアという形で楽しめる(町の)方もあると思う。④に同じく、具体的に。初めのうちは、参加者定着に時間がかかるだろうが、馴染んできたら、地域にとっても「お出かけできる場」のひとつとしていいことだと思う。

○さまざまな形でボランティアさんが活躍できる場としていけないか。

『短時間』でも、『得意分野だけでも』・・・・

⑦サロンの、『お出かけできる場』としても、お達者がやってもらえるといいな(地域の貴重な資源として)。宮西地区は、お出かけ広場がよそに比べて少ないから。

○今、お達者くらぶでやっているぷちイベントに、これからもお誘いしていく。

⑧町会長会議の単位だと、北神明町だけ。公民館レベルだと、プラス西島町、三丹町、水落町なども加わる。

たとえば;お花見外出に、一緒に行っていただくボランティアさんを募集車でご一緒に現地まで行き、可能ならば車椅子を押していただく。